

公表

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山Ⅱ勝部			公表日	令和8年 2月 23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・学習室やスヌーズレン室を設けることで用途により使い分けができる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員数が増え、重度障がいの子童に対しても目が届くようになった。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・衝立やカーテンを設置し区画を分けている。 ・入れない所には×マークを付けるなど視覚的にわかりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・勉強部屋やスヌーズレン室など分かれており状況に応じて鍵をかけて閉めることができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別支援計画等、職員が多く集まれる際に会議し、会議録を残している。 ・職員間で話しができる時間があり子どものことや働き方について共有できる環境がありたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に社内研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画書の個別会議が定期的に行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		追加事項があった際は職員間で話し合い意見交換をした後に反映している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・不安なところは職員間で意見を出し合う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・毎月活動がプログラム化されている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・朝礼時に話し合う時間を設けている。 ・支援開始前に支援内容を確認し子どもたちの発達段階に合わせて工夫している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・LINE等の連絡ツールを用いて反省点の共有をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・職員間で前日の振り返りを行い、支援の改善に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			・6か月を目処に行っている。利用頻度や子どもの様子等により6か月未満で行う場合もある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			・子どもが悩んでいたら選択肢を与えるなどそれぞれが工夫して支援している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・共有事項は電話等で共有している。その内容に関しても共有できている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・時々、下校時間の伝達不足があるため、学校にも確認を行うようにし概ね改善している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・今後、対象児童には実施予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・公園に行った際に、地域の人と交流している時もある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・保護者と話しをする時間を設けているので相談事を気軽にしてくれる人が増えたように思う。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			・デイの方針を受け入れられているように思う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・保護者から悩みが出ると職員間で共有しアドバイスを伝えている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より保護者会を開催している。</li> <li>・保護者会を開いて保護者間で話せる場を設けていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席人数が少ないため、事前予告や個別での声掛けを行い出席人数を増やす。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの避難訓練が周知できていないので、今後活動時間に取り入れる。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングを行う前にはアレルギー対象の児童の保護者に材料の周知を行っている。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にヒヤリハット報告書を用いた会議を行っている。</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

【放課後等デイサービス】保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山Ⅱ勝部

公表日 令和 8年 2月 23日

利用児童数

25名

回収数

16名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		1	・室内のスペースが少し狭いようにも思いますが公園での活動を入れるなど工夫されているように思います。	・公園等の屋外活動を取り入れストレスなく過ごせるようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	3	1	7			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		3			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	4	1	5	・保護者同士のお話し会、色々な話しが聞けてよかった。次回も開催してほしい。	・年度に一度開催予定。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1			・送迎時のシートベルトの着用が徹底されていない。リュックを背負いながら座っている時もあり不安に感じる。	・シートベルトの着用等の安全管理を職員間で周知、徹底する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・いつも親切に対応していただきありがとうございます。	

公表

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山Ⅱ勝部		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康状態や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時にはこどもの安全を確保しつつ、保護者と話しをする時間を設けている。また保護者から共有された事項に関しては職員間で共有されている。	必要に応じて、学校や園、その他の障がい福祉サービス間でも情報を共有しこどもにとって最善の支援を考えられるよう努める。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	専門職を配置し、同じ活動の中でも個々の特性に合わせた工程内容を立案している。	専門職からの助言を受け、全職員のスキルアップを目指す。
3	定期的にSNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。	日々、インスタグラムを更新しデイでの様子を保護者に向けて発信している。また定期的にLINEにてこどもの写真や動画を共有している。	言葉で伝えることも重要視しつつ、写真や動画を用いることで更にこどもの表情等を通して様子の共有を図り、安心して通所できるよう心がけている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	開催場所の確保が難しいことやプログラム内容を作成することで従業員への業務過多になり得るため。	各事業所ではなく、法人で統括し行うことで個々の負担を軽減できるよう検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けられていない。	日時、開催場所の確保が難しいことやこどもの障がい特性により安心して活動できるよう設定することに時間を有する。	近隣の児童クラブなどに挨拶に行くことや近くを通ることでこどもたちに少しずつ親しみが持てるようにすること、また地域のごとだちにも障がいについての理解を深められるような取り組みを検討する。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が手薄な部分がある。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援はされていない。	父母会は開催したものの、参加人数は少なく全保護者に開催の意図が周知できていない。またきょうだい向けのイベントに関しては開催場所の確保が難しい。	父母会開催に向けて、保護者に開催の意図を知らせより多くの方が参加できるよう努める。イベントの開催場所に関しては法人内で検討を進めていく。